

職員による自己評価

環境面・体制整備

- ・スペースの確保は、適切だと全員思っている。
- ・職員配置については、概ね適切であると答えた方が多い。
- ・バリアフリー化については、トイレの不自由さを感じると意見があった。

業務改善

- ・保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげていると答えた職員がほとんどだった。
- ・研修機会を確保していると答えた職員が大多数だった。

適切な支援の提供

- ・全体的に良いと感じている。
- ・プログラムの工夫について固定されていると感じている職員はいなかった。

関係機関との連携

- ・学校などの関係機関に対しての連携は概ねできている。
- ・卒業後に利用する障害福祉サービス事業所等に支援の内容等の情報を提供している。

保護者への説明責任・信頼関係

- ・保護者に活動概要や連絡体制等の情報を発信していると感じている職員が多い。
- ・父母の会等については開催していないが、昨年度から保護者向け勉強会をおこなっている。

E 非常対応

- ・マニュアルは周知されている。
- ・職員向け研修の機会は概ね確保している。
- ・避難訓練をおこなっている。
- ・ヒヤリハット事例集を作成し、事故報告書を作成したり、日々振り返りをしたりしている。

保護者による評価

環境面・体制整備や適切な支援の提供は適切であるという意見がほとんどであった。

- ・放課後児童クラブや児童館など交流を希望されている方は少ない。

保護者の説明等

・支援内容、利用者負担等について丁寧な説明であると答えた方がほとんどである。

- ・日ごろから子供の状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができていると思った方ほとんどである。

・定期的な会報やホームページを自己評価の結果や連絡等を発信されていると思っている人がほとんどである。

- ・父母の会などは“どちらでもない”“希望しない”が多く、定期的な勉強会を満足しているという意見があった。

・非常時のマニュアルや避難訓練について概ね周知されている。

・こどもは通所を楽しみにしている、事業所の支援に満足していると答えた方がほとんどだった。

事業所内での分析

【共通点】

- ・児童の支援内容についてよい評価である。
- ・保護者に活動概要や支援内容など説明について評価が高い。
- ・非常対応について、避難訓練やマニュアルの整備がなされている。

分析・検討してみたて…

事業所の強み

- ・保護者の説明等についての評価が高い。
- ・職員間のミーティング、打ち合わせ、振り返りをおこなっている。
- ・支援内容について、保護者から評価されている。
- ・職員は支援について意識が高い。
- ・満足度が高い。

事業所の改善点

- ・コロナ禍でどのような活動をしていくか、営業時間帯等運営について検討していく。

事業所の改善への取り組み

- ・コロナ禍で密にならないような活動を取り入れていくことや学校休業日の時間帯等来年度に向けて検討していく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

- ・支援内容について支援者と保護者の認識は共通であり、今後も活動を工夫しながら支援をおこなっていきたい。
- ・今年度は、事業所の環境整備に力を入れてきた。その結果、環境整備はおおむね適切であるとの回答が多かった。今後とも環境などの改善を踏まえより良い支援ができるよう努力していきたい。
- ・保護者のアンケートの回収率は、2017年が73.1%、2018年が70.5%、2019年は67%、2020年は86.6%、2021年度は83.3%、2022年度83.3%だった。来年以降も回収率が下がらないようにみなさんに周知していく。

事業所名 キッズサポート・きらら

担当者 大堀 竜哉